

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和 6 年度 社会教育委員提言書手交式
開 催 日 時	令和 7 年 3 月 21 日（金）午後 2 時 30 分～午後 3 時 15 分
開 催 場 所	米原市役所本庁舎 会議室 4 A
出 席 者	社会教育委員：大谷委員長、谷口嘉之委員、福永委員 教育委員会：一ノ宮教育長、本庄教育委員、膽吹教育委員、法戸教育委員 事務局：教育部 口分田部長 生涯学習課 平山課長、中村課長補佐、吉田主任
内 容	・社会教育委員会議で作成した「米原らしさがいきる学びの場」に関する提言書を教育委員会へ提出し、提言書の説明および意見交換を行った。
協議経過・概要	1 開会 2 社会教育委員長あいさつ 3 自己紹介 4 社会教育委員提言書について 提言書の提出 社会教育委員長より、教育長へ提言書の提出 提言書の説明 社会教育委員より教育委員会へ提言書内容の説明 【概要】 ～「米原らしさがいきる学びの場」について～ 「学びの場」は、自らの生きがいとなったり、知見を広げて自らを高めたりする際にはもちろん、新たな人間関係や人と人とのつながりをつくる上で非常に有用である。 今まで見えにくかった「学びの場」を市民にわかりやすく示し、「学びたい人」と「学びの場」のマッチングを推進することおよび米原市の社会教育をさらに発展させることを目的に、2年間に渡り、各委員が思う「学びの場」を調査して現状や課題を把握し、社会教育委員の立場から意見を取りまとめた。 【3項目の提言】 ① 「学びの場」活動団体の紹介の場をつくる ② 活動団体の支援 ③ 活動者のモチベーション維持 5 教育委員会からの謝辞 教育長より提言に対する謝辞

6 意見交換	社会教育委員：役員だけではなく、様々な年代の人の意見が反映されるような場が必要だと感じている。社会教育は子どもが学ぶことはもちろんだが、大人も一緒に学び続け、いろんな考えを知り、それを取り入れていけるような機会が重要だと思う。 団体の活動の意義や内容の周知・PRをより多くの人数で考えられる機会を創出することが社会教育であると思う。 教 育 長：団体の長が集まって交流し、魅力や課題などを話し合える場ができてくると、新しいアイデアが生まれていいかもしれない。 社会教育委員：太鼓踊りは春照学区以外でも実施されているので、全員が集まって交流を行い、盛り上げていく流れがあってもよい。 教 育 委 員：伝統行事は、行事の当日は楽しいものだが、当日の準備までが大変である。今の若い世代は、役員への就任も引き受け手がなく、地域の集まりにも参加が少ない状況である。最近はユーチューブなどで何でも知識を吸収できてしまい、人から教わるということ自体が減ってきている。地域の老人会、青年会、婦人会への加入も減ってきており、廃止になっている地域もある。社会生活を学ぶような場をつくるのは非常に重要であり、今後の課題である。 社会教育委員：社会教育の考え方が、社会の当たり前を伝えていくものから、多様性やいろんな考えがあるということを伝えていくように意味合いが変わってきているのではないかと考えている。米原市には様々な学びの素材があるので、それぞれををつないでいけるような組織があればよい。 社会教育委員：8年間社会教育委員をしているが、今まで教育委員会から諮問があり、それをもとに社会教育委員が研究を行うという経験がないので、ぜひ今後検討していただきたい。
---------------	--

会議の公開・非公開の別	☒ 開示 ☐ 一部開示（根拠法令等： ） ☐ 非開示 （根拠法令等： ）
全部記録の有無	会議の全部記録 ☐ 有 ☒ 無 録音テープ記録 ☒ 有 ☐ 無
担 当 課	生涯学習課（電話 53-5154、内線 2144）